

日本体育社会学会 第1回大会

大会プログラム

2023年6月24日(土)・25日(日)

日本体育社会学会第1回大会開催のご挨拶



日本体育社会学会第1回大会
実行委員長
松尾 哲矢（立教大学）

このたび日本体育・スポーツ・健康学会体育社会学専門領域と連結した独立学会として日本体育社会学会が創設されました。

その第1回大会が立教大学で開催されますことは、光栄なことと存じますとともに気が引き締まる思いでございます。立教大学は1874年に開学され、本年度で150年目を迎えます。その節目にあたる年に皆様をお迎えできますことは本当に有難く嬉しく存じます。

新型コロナの影響、年々増している自然災害の猛威、ロシアのウクライナ侵攻をはじめとした世界的な対立の激化は、生活上の問題、心身をめぐり問題をさらに顕在化させることとなります。これらの問題にどう立ち向かうのか。体育的課題はさらに重要な課題として立ち上がってくるものと思われま。

体育社会学の大きな魅力は、領域の独自性（学校体育、体育授業、運動会、学校運動部、社会体育（地域における体育）、生涯を通した運動と体育など）とともに、理論と実践が近いことであり、実践から課題を引き出し、理論化するなかで、実践を意味づけし、時には実践に生かせる視点を提示する。この理論と実践の往還運動にあらうかと思ひます。

体育社会学専門領域での活動をさらに発展させ、日本体育社会学会という新しい界を生かして会員各位のさらなる研究の発信と交流の場とすること、が新しい学会を創設した意義だと思ひます。

本学会大会の決定から開催までの期間は、ほぼ3か月というなかで実行委員会一丸となり、何とか大会に間に合わせるべく努力はしてまいりましたが、至らない点等、多々あるかと存じます。できる限り努めますので何卒宜しくお願い申し上げます。この間の評議員、理事の皆様をはじめ関係者の皆様のお力添えに心より感謝申し上げます。

皆様にとりまして、本学会大会が研究の発信と交流の場として実り多いものとなりますことを心より祈念いたしております。

2023年6月

日本体育社会学会第1回大会

1. 開催期間

2023年6月24日(土)・25日(日)

2. 開催形式

対面形式(研究委員会企画のみ後日配信)

日本体育社会学会(大会)ホームページ <https://jssspe.org/taikai>

万が一、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大が懸念される場合、昨年度同様、オンライン開催へと切り替えることもあります。その際には、速やかに関係者の皆様には連絡を致します。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

3. 主催

日本体育社会学会 <https://jssspe.org/>

4. 大会日程

2023年6月24日(土)・6月25日(日)

○…一般発表(発表15分+質疑10分)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
24日			評議員会 5号館5125	評議員会・理事会 5号館5125	受付	一般発表1 (13:00-13:50) セッション1 5号館5221 セッション2 5号館5222	一般発表2 (13:52-15:07) セッション3 5号館5221 セッション4 5号館5222	実行委員会・研究委員会企画 (15:15-17:45) 5号館5121	移動	懇親会 (18:10-20:10) 太刀川記念館3階多目的ホール			
25日	受付	一般発表③ (9:00-9:50) セッション5 14号館D301 セッション6 14号館D401	一般発表④ (9:52-10:42) セッション7 14号館D301 セッション8 14号館D401	一般発表⑤ (10:44-11:59) セッション9 14号館D301 セッション10 14号館D401	休憩	総会 14号館D301	研究委員会企画シンポジウム (14:00-16:30) 14号館D301	エンディング					
				学部生ポスター発表 14号館D402	学部生ポスター発表 14号館D402								

5. 開催場所

立教大学池袋キャンパス 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

※総会は対面開催のみ

6. 諸会議のご案内

評議員会

日 時：6月24日（土）10：00～11：00

会 場：5号館5125教室（1階）

理事会

日 時：6月24日（土）11：00～12：00

会 場：5号館5125教室（1階）

懇親会

日 時：6月24日（土）18：10～20：10

会 場：太刀川記念館多目的ホール（3階）

総 会

日 時：6月25日（日）13：00～14：00

会 場：14号館D301教室（3階）

7. 学会大会実行委員会 taikai@jssspe.org

実行委員長 松尾 哲矢（立教大学）

副実行委員長 松田 恵示（立教大学）

ライトナー・カトリン・友海子（立教大学）

村本 宗太郎（立教大学）

実行委員 佐野 信子（立教大学）

工藤 保子（大東文化大学）

前田 博子

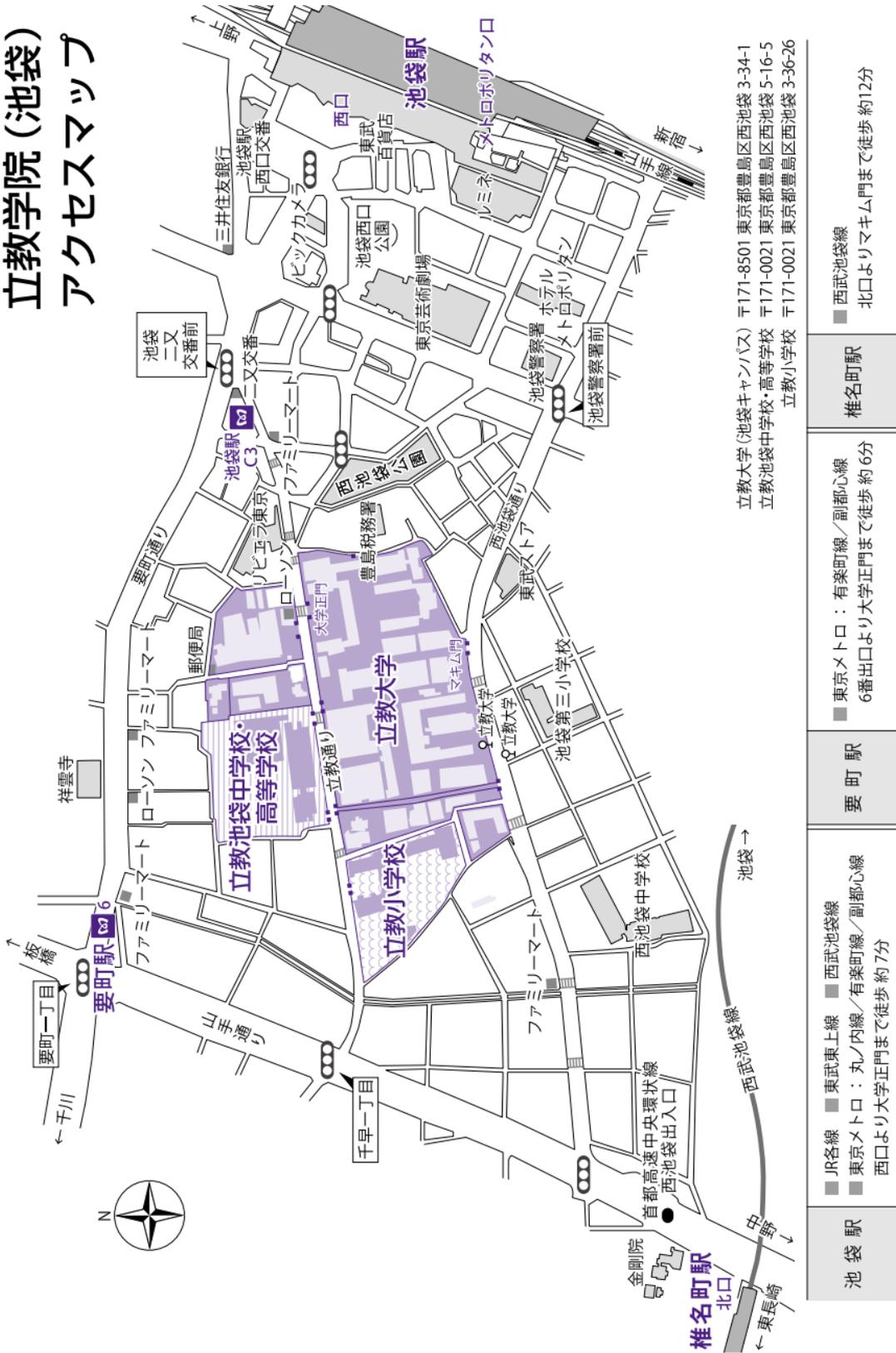
中山 健二郎（沖縄大学）

中村 真博（常葉大学）

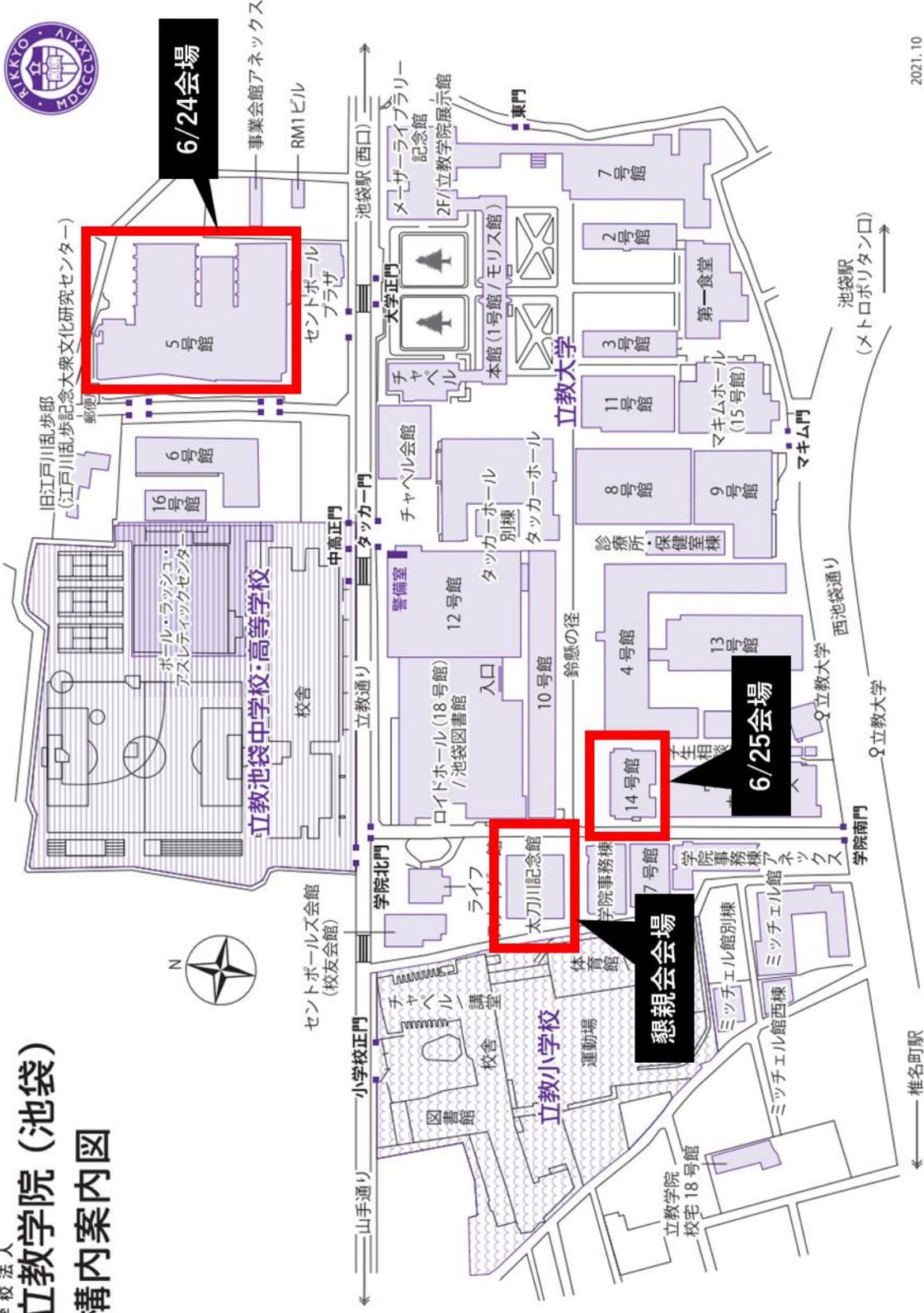
石澤 伸弘（北海道教育大学）

8. 立教大学池袋キャンパスへのアクセスならびに会場案内（フロアマップ）

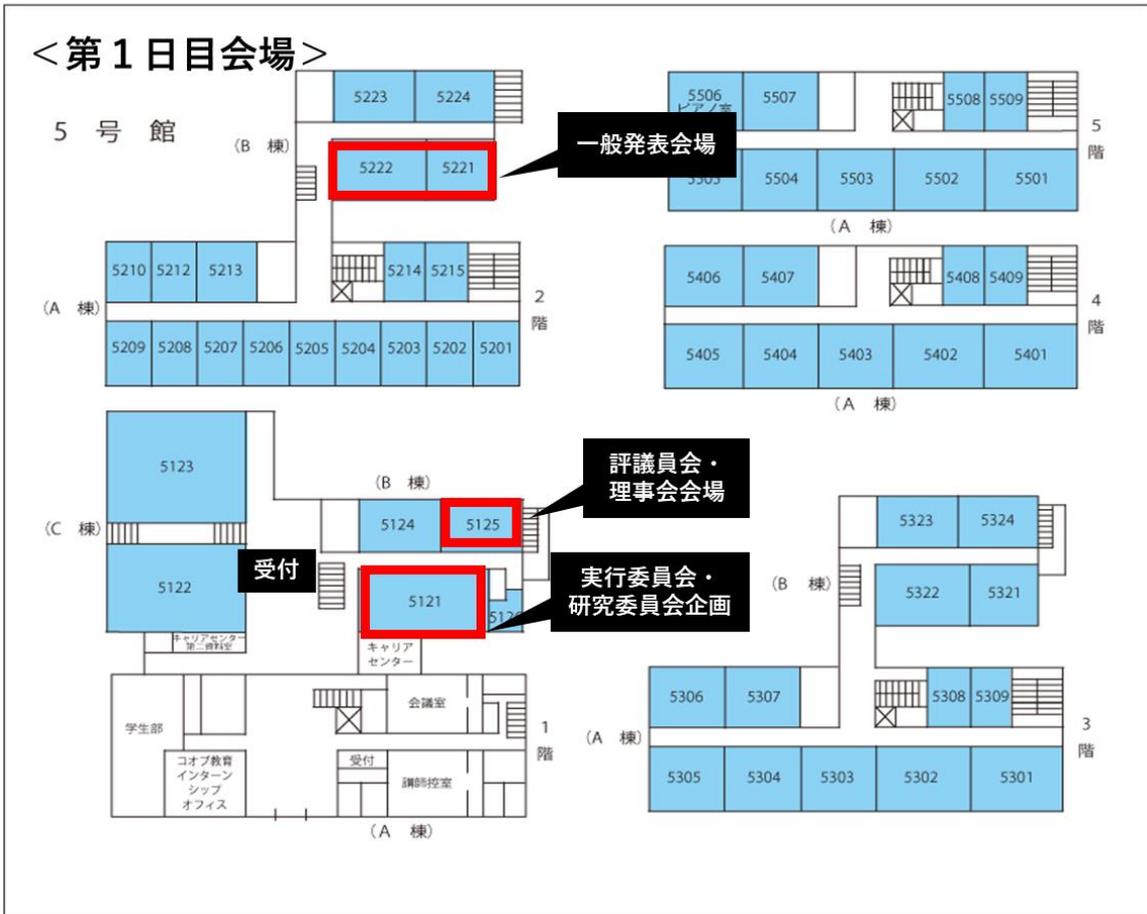
学校法人
立教学院（池袋）
アクセスマップ



学校法人
立教学院 (池袋)
構内案内図

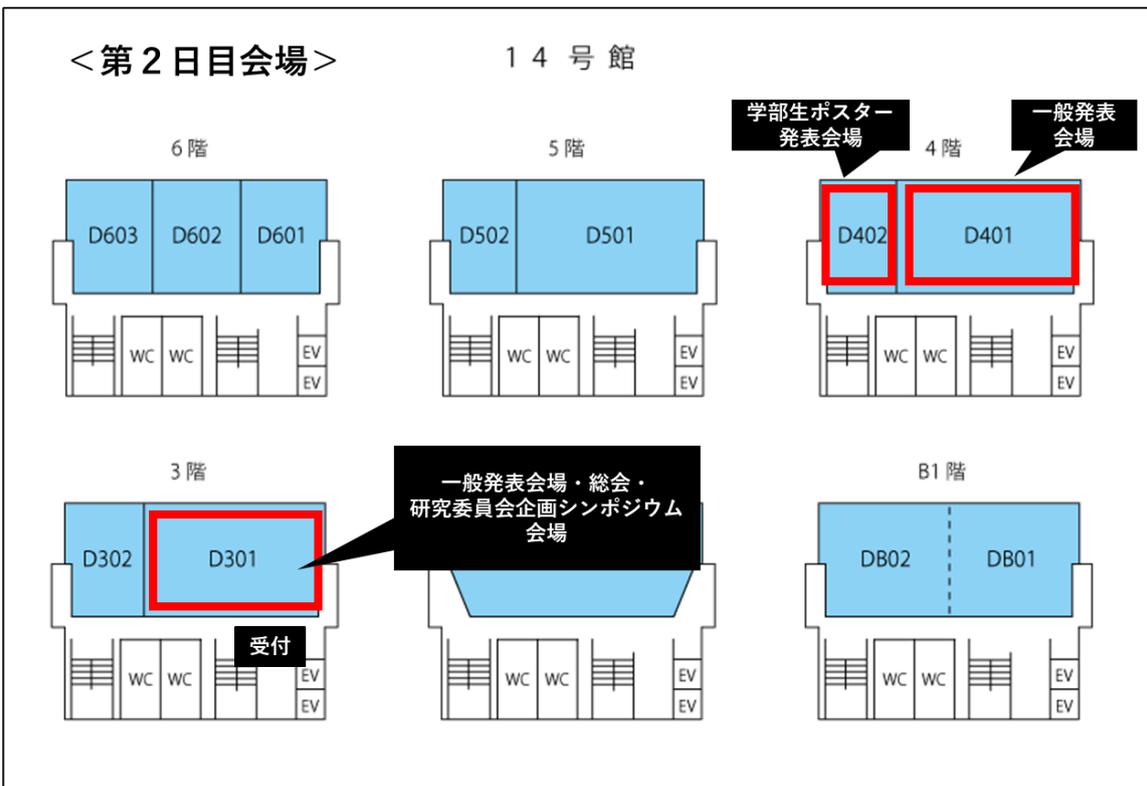


<第1日目会場>



<第2日目会場>

14号館



参加者へのお知らせ

(1) 大会参加及び発表を希望される方は、下記、日本体育社会学会（大会）ホームページの専用フォームからお申込みください。

参加申込フォーム：<http://jssspe.org/taikai-form>

(2) 発表は、1)「一般口頭発表」、2)「学生研究奨励賞エントリー発表」、3)「学部生ポスター発表」を実施します。

(3) 「一般口頭発表」、「学生研究奨励賞エントリー発表」の発表代表者は、日本体育・スポーツ・健康学会の体育社会学専門領域の会員に限ります。また、共同研究者には、下記に記載している参加費を申し受けることとします。なお、学生研究奨励賞にエントリーできる発表者は、「教育機関で専任の職を有する者を除いた大学院生および研究生」とします。発表時間は15分間、質疑応答の時間は10分間です。パワーポイントによる発表を希望する方は、USBメモリにデータを入れ持参してください。当日、発表資料を配布する場合は、各自で70部以上を持参してください。

(4) 発表を希望する会員は、発表抄録を「日本体育社会学会 発表抄録集投稿規程」

https://jssspe.org/wp-content/uploads/proceeding_regulations_20230221.pdf

と「日本体育社会学会 発表抄録集執筆要項」

https://jssspe.org/wp-content/uploads/proceeding_procedure_20230221.pdf

を参考に作成し、エントリー確認のメールに記載されている Dropbox にご提出ください。

その際、投稿規定では PDF ファイルでの提出となっておりますが、編集作業の関係上、

Word ファイルでの提出をお願い致します。なお、「一般口頭発表」と「学生研究奨励賞エントリー発表」では、作成する発表抄録のページ数が異なりますので、この点、ご注意ください。また、発表抄録の著作権は本学会に帰属することとします。

(5) 学部学生の研究活動への興味・関心を促進するために、「学部生ポスター発表」を実施します。規程上、学部学生は会員にはなれませんので、下記に記載している参加費を支払うことで発表する資格を付与します。また、共同研究者からも参加費を申し受けることとします。なお、「学部生ポスター発表」にエントリーされた全ての発表を審査して、「最優秀」、「優秀」を選考することとします。ただし、単独・共同発表に関わらずエントリーは1編のみです。なお、共同研究者として複数の発表に名前が記載されることは妨げません。

(6)「学部生ポスター発表」の発表抄録原稿は提出不要となりました。審査はポスターと当日の発表を対象とします。なお、卒論プロポーザル（研究計画書）としての発表も歓迎します。その場合は、下記の案を参考にして、ポスターを構成してください。

「卒論のテーマ」

1. はじめに（問題意識や研究の背景などを論ずる）
2. 先行研究の検討（テーマに関係する論文を収集・精読し、研究目的や研究対象、研究方法、研究結果などを整理する）
3. 研究課題の設定（リサーチクエスチョンや仮説の設定あるいは研究結果の予測）
4. 研究目的（研究の目的を1センテンスで完結した文章にする）
5. 研究方法（研究対象、データ収集の方法、スケジュールなど）
6. 参考文献リスト

ポスターはA0用紙で作成して6月25日（日）9時45分まで所定の場所（14号館D402教室）に掲示してください。発表者は原則として対面参加としますが、来場できない場合はオンライン、音声データ提出によるオンデマンド参加も可能とします。オンライン、オンデマンド参加の方はエントリーフォームの「通信欄」に記載してください。

ポスター掲示は10時から開始し、12時から口頭発表を行います。オンデマンド参加の場合、発表動画はエントリー確認のメールに記載されているDropboxに25日の9時までに提出してください。オンライン参加の方のURLは後日連絡します。発表時間は5分以内とします。

(7) 大会参加費と振込先

種 別	学会の事前参加申し込み（早期） 2023年5月29日（月）	
	早期割引あり	通常（早期割引なし）
正会員参加費	3000円	4000円
正会員（学生・院生）参加費		1000円
非会員（一般）参加費		4000円
非会員（学生・院生）参加費		1000円
懇親会費（正会員・非会員（一般））	5000円	6000円
懇親会費（学生・院生）	4000円	4500円

振込先：日本体育・スポーツ・健康学会 体育社会学専門領域

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

預金種目：当座

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店）

口座番号：0091547

郵便振替：00120-7-91547

(8) プログラムおよび発表抄録集について

主なプログラムとその詳細については大会ホームページで随時更新しておりますので、そちらでご確認ください。また、発表抄録集は完成次第、ホームページ上でパスワード付きのPDFとして公開いたします。参加者の皆様には、後ほど e-mail にてパスワードを配信します。今大会でも、印刷物による配布は致しませんので、予めご了承ください。

学会企画

実行委員会・研究委員会企画

日 時：6月24日(土) 15:15～17:45

会 場：5号館 5121 教室

テーマ：体育社会学を社会学する

－社会学の現状から Society5.0 時代の体育社会学を語る－

キーノートレクチャー

テーマ：社会学の現在と「公共社会学」

演 者：井上 俊(大阪大学名誉教授)

コーディネーター：原 祐一(岡山大学)

ファシリテーター：石坂 友司(奈良女子大学)

工藤 保子(大東文化大学)

稲葉 佳奈子(成蹊大学)

研究委員会企画シンポジウム

日 時：6月25日(日) 14:00～16:30

会 場：14号館 D301 教室

テーマ：学校運動部活動のこれまでとこれから

－文化・社会的意義から見えてくるもの－

司 会：石坂 友司(奈良女子大学)

演 者：有山 篤利(追手門学院大学)

運動部活動改革の二つのミッション

下竹 亮志(筑波大学)

運動部活動は何をしてきたのか

山本 宏樹(大東文化大学)

「学校か地域か」の前提を問う

一般発表

一般発表①：6月24日(土) 13:00～13:50

【セッション1】 学校体育①

座長：山本 理人(北海道教育大学岩見沢校) 会場：5号館 5221

13:00 新井野 洋一(愛知大学)

我が国の大学体育に関する歴史社会学的一考察

13:25 清水 諭(筑波大学)

沖縄における体育の意味に関する研究

【セッション2】 コミュニティ・スポーツ参与①

座長：工藤 康宏(武庫川女子大学) 会場：5号館 5222

13:00 北村 尚浩(鹿屋体育大学), 坂口 俊哉(鹿屋体育大学)

リモートサイクルイベント参加者の満足度と再参加意図
ー自由記述データのテキスト分析ー

13:25 稲葉 慎太郎(天理大学)

プロ野球キャンプ見学者によるキャンプクオリティ評価
ーコロナ禍前との比較を通じてー

一般発表②：6月24日(土) 13:52～15:07

【セッション3】 身体・表象・スポーツ文化①

座長：大沼 義彦(日本女子大学) 会場：5号館 5221

13:52 清水 克郎(日本ジャーナリスト会議会員)

東京五輪と報道

14:17 堀田 文郎(立教大学大学院), 松尾 哲矢(立教大学)

ボディビルダーと筋トレ
ーボディビルダーはなぜ、筋トレに身を投じるのかー

14：42 福里 星歌(立教大学大学院), 松尾 哲矢(立教大学)
現代社会における「健康不安」の形成過程に関する実証的研究

【セッション4】歴史

座長：藤井 雅人(福岡大学) 会場：5号館 5222

13：52 八木 一弥(立教大学大学院), 松尾 哲矢(立教大学)
明治期における野球の文化形成に関する一考察
－野球害毒論争をめぐる論調の変化に着目して

14：17 東原 文郎(京都先端科学大学)
1940年前後の満州における「企業スポーツ」
－昭和製鋼所の事例－

14：42 高平 健司
「武道」としての柔道とは「自然体の姿勢によるつくりとかけの精力善用の柔道」
であるが、何故、「自然体」の姿勢がその必須条件なのか？
－少年規定「後背部を握らない」＝「相手を引き付けけない」の理論根拠について
「力」とそれに伴う「意志」という視点からの分析－

一般発表③：6月25日(日) 9:00～9:50

【セッション5】コミュニティ・スポーツ参与②

座長：笠野 英弘(山梨学院大学) 会場：14号館 D301

9：00 橋本 剛幸(近畿大学)
スポーツ実施を阻害する課題解決のための取り組み
－Sport in Life 推進プロジェクト3年間の試みから－

9：25 清宮 孝文(静岡産業大学), 依田 充代(日本体育大学)
スポーツボランティアへの他律的な認識に関する探索的研究
－大学生経験者に着目して－

【セッション6】学校体育②

座長：新井野 洋一(愛知大学) 会場：14号館 D401

9：00 平賀 慧(筑波大学大学院), 下竹 亮志(筑波大学)
「学校体育」に関する社会学的研究の動向の把握

9:25 原 祐一(岡山大学)

学校体育をめぐる政策とエビデンス

ー授業は何にもとづいてなされるのかー

一般発表④: 6月25日(日) 9:52~10:42

【セッション7】コミュニティ・スポーツ参与③

座長: 笠原 亜希子(金沢星稜大学) 会場: 14号館 D301

9:52 植田 俊(東海大学), 山崎 貴史(北海道大学)

障害者のスポーツ活動支援における素人の意義

10:17 張 方舟(日本体育大学大学院), 依田 充代(日本体育大学)

地域コミュニティとソーシャル・キャピタル形成に関する研究

ーA区スポーツボランティアに着目してー

【セッション8】部活動(地域移行)

座長: 彦次 佳(関西大学) 会場: 14号館 D401

9:52 麻原 恒太郎(日本体育大学大学院), 依田 充代(日本体育大学)

中学校運動部活動の地域移行に関する研究

ーインタビュー調査によるA市関係者の認識と浮かび上がった課題ー

10:17 千葉 直樹(中京大学)

愛知県豊橋市小学校部活動の廃止と「のびるん de スクール」の設立に関する研究

一般発表⑤: 6月25日(日) 10:44~11:59

【セッション9】身体・表象・スポーツ文化②

座長: 前田 和司(北海道教育大学岩見沢校) 会場: 14号館 D301

10:44 清水 一巳(千葉敬愛短期大学)

自然環境における子どもの遊びの変容過程について

11:09 大隈 節子(三重大学)

バレーボールのおもしろさに関する研究

11:34 中山 健二郎(沖縄大学)

コロナ禍における高校野球の実践と文化変動に関する一考察

【セッション 10】部活動・スポーツ指導

座長：白石 翔(環太平洋大学) 会場：14号館 D401

10:44 村本 宗太郎(立教大学)

運動部活動における保護者の体罰と指導に対する意識に関する研究

11:09 有田 翔(岡山大学大学院), 原 祐一(岡山大学)

ゲーム中のミスをめぐるコミュニケーション
—プレイヤーのキャラと周囲の反応—

11:34 関 智弘(中京大学大学院), 千葉 直樹(中京大学)

「一流」大学女性バスケットボール指導者のコーチング哲学に関する研究

学部生ポスター発表：6月25日(日) 10:00~13:00 会場：14号館 D402

滝花 晋吾(北海道教育大学札幌校 学部生), 信田 愛美(北海道教育大学札幌校 学部生),
藤原 宏太(北海道教育大学札幌校 学部生), 石澤 伸弘(北海道教育大学札幌校)

新たな部活動の在り方についての実証研究
—札幌市立H中学校の事例に着目して—

中村 心菜美(日本大学 学部生), 水上 博司(日本大学)

道の駅における体験型コンテンツとしてのスポーツアクティビティ
—「スポーツ実施人口」に含むのか—

錦戸 楓南(立教大学 学部生), 松尾 哲矢(立教大学)

バブリーダンスの流行に関する研究

吉田 涼将(明治大学 学部生), 勝山 陽子(明治大学 学部生),

川上 陽大(明治大学 学部生), 小荒田 亮平(明治大学 学部生),

小林 達生(明治大学 学部生), 白鳥 祐貴(明治大学 学部生),

友野 希咲(明治大学 学部生), 中山 慶人(明治大学 学部生),

西部 直朗(明治大学 学部生), 原 光輝(明治大学 学部生),

松島 孝太郎(明治大学 学部生), 山田 泰聖(明治大学 学部生), 高峰 修(明治大学)

北京2020年大会テレビ報道のジェンダー表象分析

岩本 綾乃(広島経済大学 学部生), 岡安 功(広島経済大学)

育児期女性の運動・スポーツ実施に関する研究

－計画的行動理論を援用して－